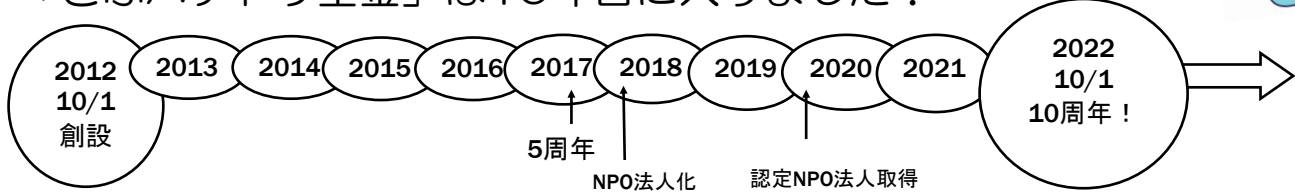
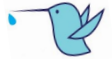


「ぎふハチドリ基金」は10年目に入りました！



2012年10月1日に創設された「ぎふハチドリ基金」。2021年10月1日は9周年でした。創設以来、皆様からたくさんの寄付と応援をいただき、毎年、一度も欠かすことなく、助成事業を続けてこられました。1年目は50万円ほどだった助成事業の規模も、徐々に大きくすることができ、2017年度以降、毎年、総額300万円を超える規模の助成事業を募集することができています。そして、累計の助成総額は、2021年度までで、1900万円を超える予定です。

今年の秋、「ぎふハチドリ基金」は10周年を迎えます。

岐阜県の子ども、若者、子育て家庭のために、
 10年間で何ができたか、
 これから、何ができるか、何をすべきか・・・

ご支援いただいた皆様、地域で活動している皆様と一緒に考える節目の年にしたいと思います。

2022年も、どうぞよろしくお願いいたします。



NHK岐阜の「みのひだ情報局」で紹介されました。

ハチドリ応援団交流会 in 百笑 宿場 couch (本巣市)

コロナ禍でオンラインが多用される中ですが、応援団の皆さんとつながり続けたいと願い、感染者数が激減していた11月に、本巣市の古民家で交流会を開催しました。

- ◎ゲスト ◆不登校やひきこもりなど、生きにくさを抱える子どもや若者の支援 NPO法人心をつなぐホースセラピーぐりん・はあと 近藤さん
 ニコニコ体操クラブ 森本さん
 NPO法人つむぎの森 豊永さん
 ◆様々な困難を抱えた小学3年～中学生の学習支援 (一社) さなぎの杜 宇佐美さん
 ◆若者の就労・居住支援 (社福) 岐阜羽島ボランティア協会 吉田さん



ゲストのお話は、とてもわかりやすく、各グループでは、活発に意見交流ができ、理解が深まる機会になりました。お楽しみのひとつ、養老軒「ごろごろ栗のどら焼き」も好評でした。

【感想】

- 様々な団体の方から運営に伴う悩み等を聞くことができ、助けを必要とする人の支援とは、難しくもあり、やりがいも大きいということを肌で感じました。もっと詳しく知りたいと感じております。
- 画面を通してではなく、直接お会いしての交流会は、大切だと改めて感じました。
- ハチドリ基金や応援団の活動の理解が深まったのと、自分自身は、何ができるのかを考える良い機会となりました。



◆参加者の多くから「大変有意義であった」と感想をいただき、今後の取組みへの励みになりました。

【団体訪問報告】 2021年11月、岐阜市でフリースクールを開設している「NPO法人えん」の取材に行きました。

「NPO法人えん」の活動拠点は、岐阜市の市街地にあるビルの2階、岐阜駅から歩いて行ける距離にあり、バス通りからすぐの場所にある。市街地に住む子ども達はもちろんのこと、離れた場所からでも電車やバスで通うことができる、とても便利な場所である。

外階段から入る玄関を開けると、区切りがなく、広くて明るい空間が広がっていた。

窓も大きく解放感があるスペースである。まず、目に飛び込んできたのは、誕生日祝いのメッセージだ。きっと今日だけではないのだろう。一人一人の人生の節目を大切にしていることがうかがい知れた。

フリースペースにいる子ども達は、パソコン、TVゲーム、読書など、それぞれが違うことをしていた。自分のペースで過ごすことができ、一人一人の興味や心の状態を受け止められている心地よさがあるのを感じられた。取材日は、毎週木曜日のお昼に子ども食堂として開放される「はるさん食堂」の日。焼きそばやポテトなど、子ども達が喜びそうなメニューが目白押しであった。

NPO法人設立記念イベントとして、8月に「不登校フェスinぎふ」を開催。岐阜県内から多くの親子が集まり、各々の物語が共有された。また、岐阜県内の親の会、フリースクール、通信制高校、不登校特例校、居場所活動を行う支援団体等の一覧、「ぎふ支援団体MAP」も制作された。

高校生のサポート校から始まった活動は、今や「フリースクールふらっと」「学びの舎(個別指導教室)」そして「本巣市のおやまのフリースクール」と多種多様に広がっている。

既存の枠に捕らわれないこと、とにかくやってみることを信条に、躊躇なく行動に移し新しい形を創造し本気で楽しむ大人たちの姿は、子ども達にとって明るい希望になる。子ども達と創り出す数々の活動が、現代の教育課題に活路を見だし、この街に変化の兆しを創っていく。そんな気がした取材だった。



NPO法人えん FB <https://www.facebook.com/npo.en.gifu/>
(人と学ぶ場ふらっと) <https://hitotomanabuba.com/>



代表の加藤さん夫妻

<個人の寄付金控除について>

ぎふハチドリ基金への寄付と応援団会費は、寄付金控除の対象です！



☆認定NPO法人や公益法人等への2,000円以上の寄付金や賛助会費は、寄付金控除が受けられます！

年末調整をされた方も、確定申告で、さらに税金が戻ってくる可能性があります。

☆2021年1月～12月に、ぎふハチドリ基金に寄付金や応援団会費をいただいた皆様、令和3年(2021年)分の確定申告に、ぎふハチドリ基金の「寄附金受領証明書」をお使いください。(他の認定NPO法人や公益法人等への寄付金と合算できます)。

- (ポイント) ○認定NPO法人や公益法人等に寄付したお金の最大約50%が戻ってきます。
○所得税は必ず減税。住民税は減税になる場合があります。
○確定申告(還付申告)が必要です。

【所得税減税額の計算式】 税額控除か所得控除のどちらか有利な方を選択できます。

税額控除の場合 (年間の寄付金合計額-2,000円)×40%=減税額(所得税額)(所得税の25%が上限)

所得控除の場合 (年間の寄付金合計額-2,000円)×所得税率=減税額(所得税分)

*年間寄付金合計額は、年間の総所得金額等の40%が限度

【個人住民税減税額の計算式】

年間寄付金合計額-2,000円)×最大10%=減税額

*年間寄付金合計額は、年間の総所得金額の30%が限度

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。 <https://www.nta.go.jp/>
令和3年(2021年)分の確定申告の期間は、2022年2月16日～3月15日です。



ハチドリ応援団(個人・団体)とボランティアスタッフを募集しています！

ぎふハチドリ

検索